

更に付言すれば、今後新たな基準の追加、改訂の要望が生じた場合、殊に科学技術庁、文部省以外の省庁の所管下にある試験研究機関からの申請、提案はどこを窓口としてどのように対応すべきかについても明示しておく必要があろう。

なお、答申案表題の「遺伝子組換え研究」という表題は組換えDNA研究とは本質的に異なった内容をも含むことになるので、「組換えDNA研究」と改めるべきである。

11-10

総学庶第1045号 昭和54年7月31日

文部大臣 内藤善三郎 殿

日本学術会議会長 伏見康治

昭和55年度科学研究振興に必要な予算について（申入れ）

標記について、本会議第530回運営審議会の議決に基づき、下記のとおり申し入れます。

#### 記

本会議は、従来から政府に対し科学研究の振興に関して勧告を行っているが、なかでも、科学研究振興のための国家予算の一層の拡充とその体系の整備の緊要性について力説してきた。また、文部省所轄の科学研究振興費、特に科学研究費補助金は、我が国の学問、とりわけ基礎科学の発展に果たしている役割り並びに科学者の同補助金に対する期待が極めて大きいものであるところにかんがみ、その大幅な増額を毎年強く要望してきたところである。

これに対し、貴省はじめ関係方面的配慮により、科学研究振興に必要な経費は着々と増額をみ、科学研究費補助金総額は、昭和54年度において305億円に達している。それにもかかわらず、この予算総額は当該年度の申請総額1,124億円からみても、なお極めて不十分である。

殊に、我が国の産業・経済・社会・文化は、いま大きな転換期を迎えており、科学研究が担うべき役割りはいよいよ重大となっている。そのため、科学研究費補助金の大幅な増額が切望される。

本会議は、昭和55年度においては、総額並びに研究種目の区分を下表のとおりとすることを適当と認めたので、その実現を強く要望するとともに、人文、社会、自然の各分野を通じ、科学研究の調和ある発展のため、これを有効適切に使用する方法についても更に配慮を加えられるよう要望する。

また、最近の学術研究の成果については、必ずしも刊行物の形態をとらず、磁気テープ化したものを含めてデータベースの形態をとるものが多くなってきている。学術情報におけるデータベース作成の重要性にかんがみ、現行の研究成果刊行費の中に新たに「データベース作成費」を設けるよう併せて要望する。

(金額単位: 億円)

科学研究費補助金の研究種目別	申入額
科 学 研 究 費	6 7 3
特 定 研 究 (A)	3 8
特 定 研 究 (B)	6 4
総 合 研 究	5 7
一 般 研 究	3 8 4
奨 励 研 究	4 6
試 験 研 究	7 3
海 外 学 術 調 査	1 1
特 別 研 究 促 進 費	—
研 究 成 果 刊 行 費	1 8
合 计	6 9 1

11-11

総学庶第1044号 昭和54年7月31日

文 部 大 臣 内 藤 善三郎 殿

日本学術会議会長 伏 見 康 治

昭和55年度文部省科学研究費補助金特定研究

(B)に係る研究領域について(申入れ)

標記について、本会議第530回運営審議会の議決に基づき、下記のとおり申し入れます。

記

昭和55年度から始まる特定研究(B)として、本会議は慎重審議の結果、次の諸研究領域を選定した。貴省におかれでは本案を尊重するとともに、研究領域の決定に当たって、あらかじめ本会議と十分な打合せを行われるよう要望する。

- 真核細胞制御の分子機構
- 生体機能のシミュレーションと有効利用
- 生体系の高速反応
- 固体表面における動的過程
- 発展途上諸国における工業化・都市化の比較研究
- 沖縄における文化接触・変容の基礎的研究
- 太陽系の進化と惑星環境の研究
- 海洋開発利用に関する基礎研究
- 光起電力効果の基礎と応用
- 金属資源の循環利用
- アモルファス材料